

鳥取ふれあい共生ホーム

照陽の家だより

平成30年 4月 20日

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151



住民交流型共生ホーム

角三自治会長 永井 建 様

「角三支え愛ほっとガーデン」

米子市角三自治会 会長の永井 建です。照陽の家は平成23年に開設されましたがそれと同時に地域代表として運営推進委員になりました。前会長から角三自治会を引き受けたばかりで何も分からないままの状態でしたが推進会議の中で沢山の情報を頂き感謝しています。福祉・介護についても知識不足を多少、補う事が出来ました。運営推進会議後に施設状況を見学していますが通所の利用者、家族様共々信頼を築き運営されている安心、安全、楽しく過ごせる施設と評価しています。また、照陽の家は地元角三自治会の会員でもあり町内のイベントにも参加頂いております。我が町内は65歳以上の方が6割を占めまさに高齢社会の現状です。近隣の生活物資調達のためのお店も無くなり街中の孤島状況と言えます。そういう中、照陽の家より鳥取県が力を入れる「響かせよう トットリズム」推進事業の紹介を頂きました。自治会と事業所が地域活性化に向けての情報を得ながら構想作りを行い昨年の7月に倉吉で審査を受け9月に認定を頂きました。永年、この地域の人々に愛された角三公民館。ここを住民交流型共生ホーム「角三支え愛ほっとガーデン」として備品整備等を行い開設しました。歴史ある町内を活性化する為には住み慣れた地域において高齢者・障がい者・児童等のみならず地域住民の誰もが集い楽しく活動出来、支え合う居場所作りが必要です。10月開所式の前にはイベントも行い第一会場を照陽の家、第二会場を角三支え愛ほっとガーデンとし、両会場で約90名の方々に参加して頂きスタッフの皆様の協力には感謝しています。特に第二会場では「お薬の話」を地元のかくばん薬局の薬剤師、梅国氏より講演頂き非常に参考になりました。その後はサロン、クラフト(ティッシュカバー作り)、編み物教室、また吉村先生によるヨガ教室には照陽の家の看護師さんも血圧測定等の協力を頂いています。今後も続いてこの集いの場に多くの住民の方が集まり様々な地域の課題が解決出来るきっかけになればと願っています。さらなるご協力を宜しくお願い致します。



お菓子作り



皆生の足湯

いい湯ですね



春が来て、外出の機会が増えます。利用者様は外出から照陽の家に帰られると満足そうな笑顔で「ただいま」と言われます。照陽の家が第二の我が家になる様

訪問看護ステーション ハートケア

今回は、お薬手帳を使うメリットをお話します。お薬手帳には、処方された薬の情報や本人情報が載っています。その為、他の病院や診療所などに行った時も、お薬手帳を見せるだけで、すぐに必要な情報を医師や薬剤師に伝えられるので、的確な治療やアドバイスを受けることが出来ます。今飲んでる薬との不都合な飲み合わせや薬の重複をチェックし、副作用や相互作用のリスクを減らせます。副作用歴、アレルギー、過去にかかった病気などの情報を伝えることができ、副作用を抑えることが出来ます。旅行や災害、急に具合が悪くなった時などに、薬がなくても自分の薬の情報を正確に伝えることが出来ます。万一来て、常日頃バックにお薬手帳を入れておくと良いでしょう。

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



ひなたぼっこ保育園

米子市認可地域型小規模保育所

在籍の子どもたちが入園式の準備



園児5名の少ないスタートでしたが、全員男の子なので、にぎやかな入園式になりました！

今月の言葉 自由に心を 羽ばたかせよ 心を小さく 閉じこめるな ~葉 祥明~